

まちに、未来を、インストール。

No Maps 2018開催報告 (暫定版)

Sapporo Creative Convention

NoMaps

Conference
Exhibition
Event
Meet-up
Experiment

Oct. 10 wed - 14 sun, 2018
in Sapporo, JAPAN

札幌クリエイティブコンベンション・ノーマップス
2018年10月10日(水)～14日(日) / 札幌市内中心部ほか
主催: No Maps 実行委員会

<http://no-maps.jp>  

I. No Maps 2018 開催概要

(1) No Maps とは？

**テクノロジーやアイデアで、未来の社会を切り拓く。
そんな志を持つ人たちが集い交わる場、
それが“No Maps”です。**

No Mapsは、札幌・北海道という象徴的な開拓の地で、クリエイティブな発想や技術によって次の社会を創ろうとする“現代的フロンティアスピリット”を持った人たちのためのコンベンション（人、情報、知識、物などの交流の場）です。

No Mapsに集った人々はもちろん、この地で暮らす人々のクリエイティビティも高め、地図にまだ描かれていない新たな領域を、札幌・北海道から切り拓いていこうとするものです。

先端テクノロジーや斬新なアイデアを核とした「新しい価値観/文化/社会の姿」を提案するビジネスコンテンツをテーマに、「会議（Conference）」「展示（Exhibition）」「興行（Event）」「交流（Meet-up）」「実験（Experiment）」の5つの事業によって、新たなビジネスを生み出し、加速させるための場を提供していきます。

“No Maps” – 名称の由来

アメリカのSF作家、ウィリアム・ギブスンを追った同名のドキュメンタリー映画にちなんで命名。「地図なき領域を開拓する」という思いを込めています。

Sapporo Creative Convention



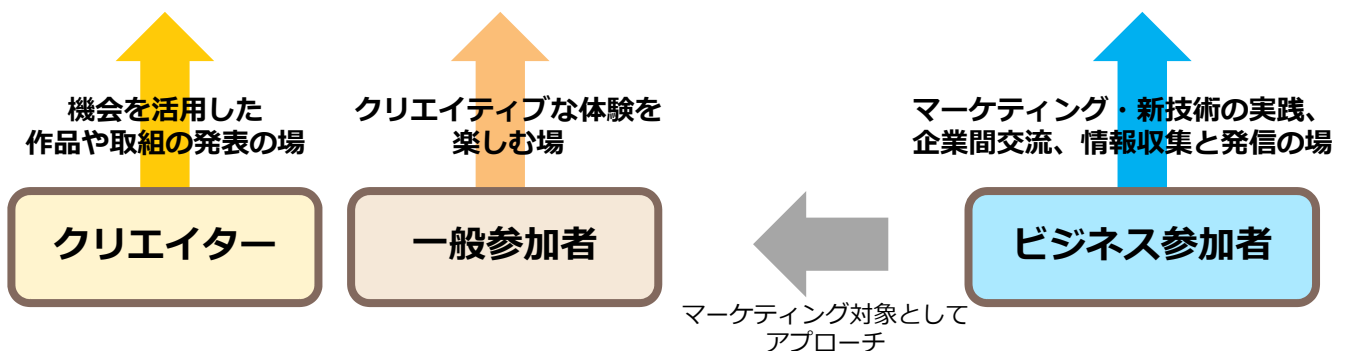
**No Mapsは、様々な取組を通じて、
「新たなビジネスを生み出し、加速させる」
ための場を提供していきます。**

2016年にプレ開催、2017年から本格開催をスタート。
2018年は、2017年の本格開催で得られた実績・ノウハウをベースにして、特に手応えのある事業を核として、より効果的・効率的に事業を実施することを意識しつつ、街全体を活用したコンベンションとして狸小路を新たな会場とする展開にもチャレンジしました。

(2) No Maps 2018 開催概要

- 【開催日】 メイン会期 2018年10月10日(水)～14日(日)
(※9日にセレブションパーティー開催)
全会期 2018年1月1日(月)～12月31日(月)
- 【開催場所】 札幌市内中心部 ※一部例外あり
- 【事業目的】
○クリエイティブ産業の活性化と他産業への波及
○創業支援・新産業の創造・投資の促進
○クリエイティブな市民文化の醸成
○札幌・北海道の国際的知名度・魅力の向上
○「世界屈指のイノベーターなまちSAPPORO」の実現
- 【主催】 No Maps実行委員会
- 【WEB/SNS】 ウェブサイト <http://no-maps.jp>
Twitterアカウント @no_maps
Facebookページ <http://www.fb.com/NoMaps.jp>

【実施状況】



Ⅱ. No Maps 2018 開催結果

(1) 事業事業数・来場者数等 (メイン会期中の事業を対象)

【総事業数】 **105** 事業

【会場数】 **32** 会場 ※同一施設内の別会場はまとめて1会場としてカウント

【来場者総数】 **22,539** 人
 ※カウントに基づく実数をベースに積み上げ
 ※一部、会場の性質上カウントが難しい事業については一部時間帯の来場者数より推計して計上

【参考】 No Maps 2017 メイン会期総来場者数 27,379人
 (2018年は会期が11日から5日に圧縮された関係で約17.7%減)

【各事業区分の来場者数内訳】

会議 (Conference) 3,067人 (47事業)

展示 (Exhibition) 5,976人 (6事業)

興行 (Event) 13,034人 (45事業)

交流 (Meet-up) 1,536人 (16事業)

実験 (Experiment) - (6事業)

※実験の体験人数は来場者としてはカウントしていない。

※複数の区分が設定されている事業が多数あるため、各区分の来場者数・事業数の合計はNo Maps 2018全体の総数と一致しない。

(2) 事業区分毎の主な事業



地域から生まれるイノベーション ～神戸、福岡、そして札幌～ / 札幌の学生VS東京のメーカー デジタル時代における課題解決のプロセスを大公開 / No Maps 災害とテクノロジーの関係 災害時にシビックテックは機能するのか / ブロックチェーンの未来を語る ～ブロックチェーン北海道イノベーションプログラムセミナー～ / No Maps台湾カンファレンス / ディープラーニングの先 ～AIが説明能力を持つ時代～ / 農Maps@NoMaps ～農業×Techで農業の未来を創る!～ / Xビジネストークセッション～Xが日本のイノベーション / ビジネスを変える! ?～ / "No Maps NEDO Dream Pitch" with 起業家万博 / アトム、15歳。鉄腕アトムは実現できるか? / うるる Presents WORK SHIFT from HOKKAIDO ～北海道だからこそ価値を生み出せる働き方改革～ / 札幌×渋谷カンファレンス ～まちに、街を、インストール。～ / ANAデジタル・デザイン・ラボが描く未来のエアライン / Open Network Lab HOKKAIDO 第1期 Demo Day / インターステラテクノロジズ 宇宙にかけるプロジェクトマネジメントとチームワーク / ポケモン×地域のグローバル化 ～ちいぎのちからってすげー!～ / xRが世界を変える! 可能性と将来展望～HMCCセッション～ / ベンチャーカンファレンス "Spark! Innovation" / 空飛ぶクルマから始まる地方創生 / 他 全47事業



No Maps Touch the NEW Street / ローカル・クリエイターズ・エキシビション / 「New build」プロジェクト / ドニチカきつぷを片手に東豊線でアートフルな一日を過ごそう! 他 全6事業



TANUKI 5 Sound Explore まちの音を探し、魅せ、伝える / TANUKI 5 STREET MOVIE / TANUKI 5 STREET LIVE In SUNTORY BAR AVANTI 5 / TANUKI 5 STREET COMEDY / TANUKI 5 STREET ART / 第5回ミュージックサロンONE DRINK JAZZ SALONin No Maps 2018 / 第13回札幌国際短編映画祭 / 映画「箕輪大陸」札幌上映会 + トークイベント / Sapporo Neutral 2018 / ROCK DIVERSITY / IDOL DIVERSITY powered by No Maps / 北海道高等学校軽音楽連盟第2回全道高等学校 軽音楽新人大会 / UNION DAYS / METAL BLIZZARD / VRドームムービーセレクション & プラネタリウムライブ 2018 / No Maps×PROJECT DRONE / アニマルメガラボ 他 全45事業



No Maps 2018 Reception Party / 一般社団法人日本スタートアップ支援協会 北海道ランチ交流会 / No Maps Official Meet-up / No Maps オフィシャル・ミートアップ in 42BAR スナックゆき期間限定! 日替わりママスナック企画～No Maps Lovers Meet Ups～ / e-Asia ミートアップ No Mapsナイトタイムミートアップ『札幌からエンタメを編集せよ!』 - 今夜、アジアのエンターテイメントをメイクする - 他 全16事業



No Maps 狸 the Showtime
 ～札幌の未来を発信する次世代型狸小路～
 実装間近な配送ロボットのユースケース実証
 みらい型ショッピング体験 at 東急百貨店
 他 全6事業



「新しい価値・文化・社会の姿」を提案するコンテンツやビジネス等を題材に、No Maps Business Conference 2018を核として、40の関連事業を行い、来場者に情報の受発信や議論、創発などの場を提供しました。

【実施概要】

- 関連事業数 47件（うち協賛セッション 4件、連携事業23件）
- 来場者数 3,067人

【主なテーマ】

- # 地方創生 # 人工知能 # 一次産業TECH # これからの教育 # 観光×TECH # スタートアップ
- # ドローン # コンテンツビジネス # イノベーション # ブロックチェーン # 宇宙ビジネス # IoT
- # マーケティング # サステナブル # # 次世代モビリティ # クリエイティビティ # 働き方改革
- # メディアアーツ # 映像制作・配信 # 震災対応 など

■ No Maps Business Conference 2018

道内外から新しい社会を創るイノベーターに多数登壇いただき、講演・ディスカッションは充実した内容となり、来場者の満足度も高いものとなりました。



II. No Maps 2018開催結果



「新しい価値・文化・社会の姿」を提案する新技術やコンテンツ、サービス等の展示/発見の場を提供することを目的に、チカホでは、No Maps Touch the NEW Streetとして多様な技術展示を展開。学生のメディアアーツ作品の展示や、インタラクティブな体験展示なども行いました。

【実施概要】

- 開催事業数 6事業（うち連携事業1件）
- 出展企業数 13社・団体
- 来場者数 5,976人

次の社会を支える先端技術等を中心に、体験や実証実験に絡めた展示をチ・カ・ホで展開。

Touch the NEWの名称通り、できる限り「新しいものに実際に触れる」ことのできる展示を意識しました。

【出展企業】

全日本空輸株式会社、日本放送協会、ニューバランス、NTTドコモ、富士通株式会社、LION株式会社
SAPORO AI LAB、Inter × cross Creative Center、ビズライトテクノロジー、DeNA/あまた、
北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会（（独）中小企業基盤整備機構 北海道本部）

■ No Maps Touch the NEW Street

先端技術や新しいサービス等をビジネスマンや多くの市民に知ってもらい、体感してもらい場として開催。



■ ローカルクリエイターズエキシビション

道内大学・専門学校・高校でメディアアーツ作品制作に取り組む学生たちの展示を実施。

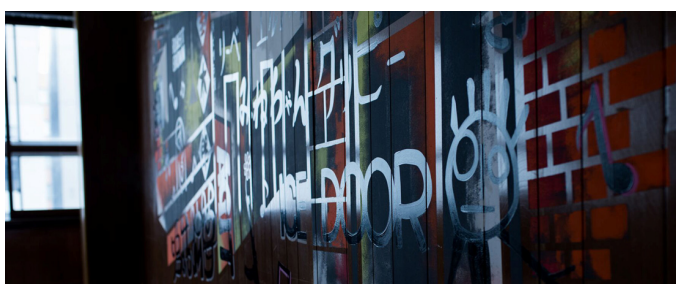


■ 「New build」プロジェクト

廃ビルとなる歴史ある建築物を活用し、現代アートでビル内をメディア化するプロジェクトを実施。

■ ドニチカきっぷを片手に東豊線でアートフルな一日を過ごそう！

札幌大谷大学学生によるメディアアート×音楽パフォーマンスの実験的展示。





短編映画祭や市街地のライブサーキットを中心に、市民が気軽に参加しやすい体験型イベントの形で、新たなコンテンツを体感したり、新たな技術を体験できる場を提供しました。

【実施概要】

- 事業数 45事業（うち連携事業7件）
- 来場者数 13,034人

実験的な取組を含めて、コンテンツを活用した多様なイベントを開催し、多くの方に“新しいコンテンツ”を体感してもらうとともに、“No Maps”を認知してもらう場にもなりました。

■ 札幌国際短編映画祭

第13回を数える札幌国際短編映画祭は、3,600以上の募集作品の中から選りすぐったショートフィルムの上映のほか、テレビ番組「熱烈！ホットサンド！」とのタイアップ企画による新作短編2作品の上映や、北海道の映像プロダクションが制作した作品や、北海道出身の監督が手がけた作品を集めた「北海道セレクション」など、多数のプログラムを実施しました。



■ No Maps Music Weekend

中心市街地のライブハウスを渡り歩くライブサーキット、アイドルライブ、大学生や高校生の音楽活動の発表の場など、ジャンルもコンセプトも異なる多数のライブを開催しました。



■ VRドームムービーセレクション & プラネタリウムライブ 2018

昨年度大好評だったプラネタリウムでのドームムービー上映を今年は日数を拡大して実施。

■ No Maps × PROJECT DRONE

ミッションクリア型のドローン操縦体験のほか、国内有数のドローングラファ・伊藤広さんのトークショーなどを開催。



II. No Maps 2018開催結果



登壇者、出演者、来場者、関係者ら、「新しい価値・文化・社会の姿」に関心のある多様な人たちが自由に出会い、つながり、さらなる価値を紡ぐためのネットワーキングの場を多数提供しました。

【実施概要】

- 事業数 16事業（うち連携事業6件）
- 来場者数 1,536人

No Mapsの事業の多様性と相まって、非常に多様な職種・業種の方々のネットワーキングを行い、新たな動きにつながる出会いを創出しました。

■ No Maps Official Meet-ups

ビジネスカンファレンス期間中、会場併設のラウンジで毎日夕方よりミートアップ事業を開催。また、夜にはオフィシャルラウンジであるBARでもネットワーキングイベントを開催。連日、多くの登壇者、参加者が登壇者、関係者が交わり、多様なビジネス交流を生み出しました。



■ レセプションパーティ

No Mapsに参画・協力する方々をお招きし、産官学あらゆる分野の方々との交流の機会を提供。

■ その他交流の場を多数用意

トークセッションと絡めたミートアップ事業も多数実施。





狸小路商店街の道路占用許可取得によるNo Mapsエリア化など、街をメディア化する取組を行ったほか、配送ロボットの実証実験など新技術にかかる実験事業を展開しました。

【実施概要】

○事業数 6事業（うち連携事業2件）

「まちに、未来を、インストール。」というキャッチコピーで街全体を使ったコンベンションを目指すNo Mapsらしい実験的取組で、賑わいを創出しました。

■狸小路商店街5丁目エリアの「No Maps化」実験

札幌市、札幌大通まちづくり株式会社の全面協力のもと、狸小路商店街振興組合と連携して、アーケード街の「道路」である通路部分を一部リビング化し、アーケード下にまで賑わいが染み出すような仕掛けにチャレンジしました。会期中は、沿道に滞留スペースを配置するほか、店舗との連携などにより、音楽、映画、アート、お笑いなど多様なコンテンツを展開し、No Mapsらしいクリエイティブなエリアとして多くの人に来場いただきました。



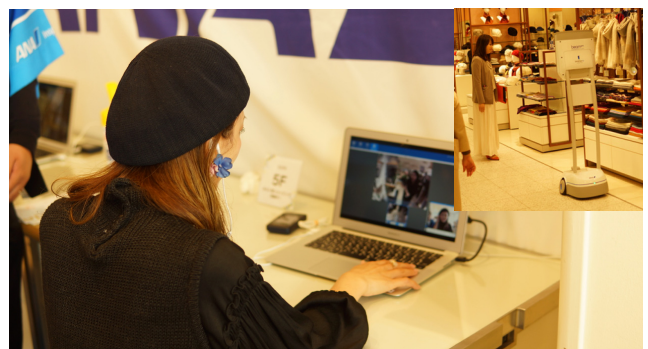
**■配送ロボットユースケース
デモンストレーション**

狸小路5丁目内において、手ぶら観光を実現する配送ロボットのデモンストレーション走行を実施。



■みらい型ショッピング体験 at 東急百貨店

分身ロボット「ANA AVATAR」を遠隔操作し、札幌から渋谷の商業施設「渋谷ヒカリエShinQs」店内をショッピング。現地のスタッフと会話しながら、購入までの体験をしてもらいました。





No Maps 2019

2019.10.16.WED - 10.20.SUN
in Sapporo, Japan

【問合せ先】

No Maps実行委員会 (担当：事務局・廣瀬)

〒003-0005

札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1

インタークロス・クリエイティブ・センター 2FH

TEL 011-812-2000 FAX 011-812-2001

E-mail info@no-maps.jp URL <http://no-maps.jp>